

蕨 広報WARABI 4

2015/平成27年
わらび・767

- 平成27年4月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km²
- 3月1日現在人口：72,310人 前月比 -40人
男 36,735人 女 35,575人
世帯数：36,022
人口密度：14,150人/km²

4月から1年生です。
ともだちいっぱいできるかな。



～今月の特集～

- 新年度予算
- みんなで築く
災害に強いまち

安心してにぎわい みんなにあたたかい

平成27年度

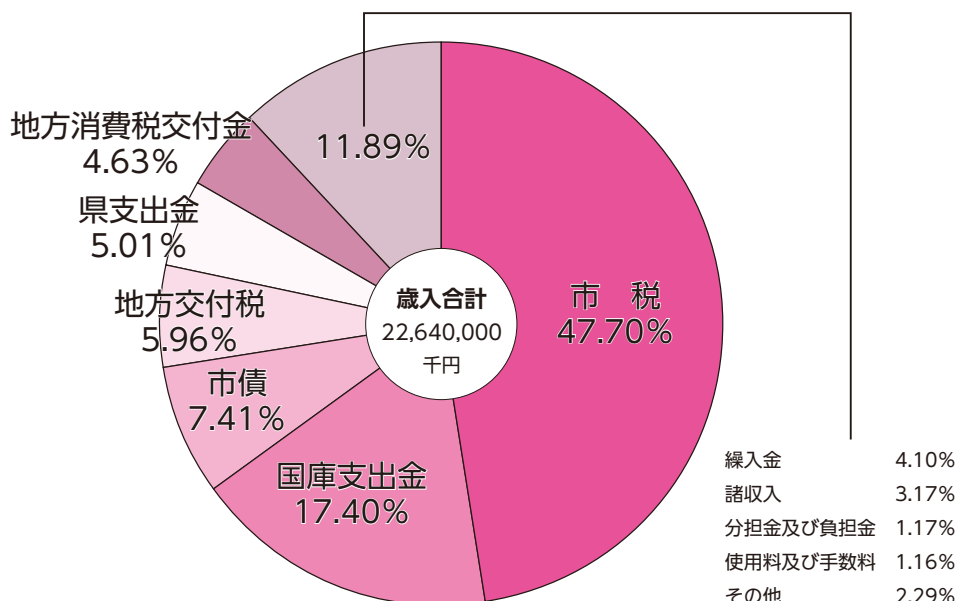
蕨市の予算

日本一のコンパクトシティ蕨

226億4,000万円

前年度比 7億4,000万円(3.4%)の増

歳入の内訳



蕨市全体の予算総額
約445億1005万円

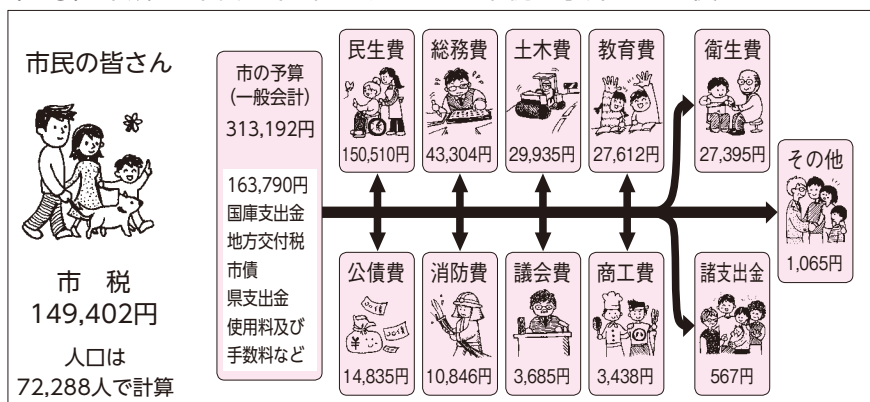
市の予算は市民生活に関係の深い「一般会計」と特定の事業を管理する「特別会計」、独立採算制で運営する「企業会計」の3つの予算(3ページ各表)で構成しています。

一般会計は子ども子育て支援新制度の本格的な実施をはじめ、生活困窮者自立支援制度の施行や低所得者・子育て世帯への各種給付金の継続、土地開発公社経営健全化の事業費増、防災事業の拡充などにより、前年度比3.4%増の226億4000万円となりました。

歳入の内訳(円グラフ)は約48%が市税で前年度比0.5%増の108億円を見込み、続いて国庫支出金、市債となっています。地方消費税

4月に入り、平成27年度がスタートしました。そこで今月は、2ページから9ページまでにわたって、新年度予算の概要と主な事業などをご紹介します。まず2、3ページでは蕨市全体の予算概要や一般会計の歳入・歳出の構成比などについてお伝えします。

(図①) 平成27年度の市民1人当たりの市税と予算、その使いみち



■一般会計(歳入)

単位=千円、%

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	伸 び 率
市 税	10,800,000	10,750,000	50,000	0.5
地 方 譲 与 税	110,000	110,000	0	0.0
利子割交付金	16,000	20,000	△4,000	△20.0
配当割交付金	40,000	35,000	5,000	14.3
株 式 等 譲 渡 所得割交付金	20,000	10,000	10,000	100.0
地 方 消 費 税 交 付 金	1,049,000	697,000	352,000	50.5
自動車取得税交 付 金	25,000	20,000	5,000	25.0
地 方 特 例 金 交 付 金	45,000	48,000	△3,000	△6.3
地 方 交 付 税	1,350,000	1,550,000	△200,000	△12.9
交通安全対策特 別 交 付 金	10,000	10,000	0	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	263,696	227,619	36,077	15.8
使 用 料 及 び 手 数 料	262,519	262,115	404	0.2
国 庫 支 出 金	3,939,054	3,968,199	△29,145	△0.7
県 支 出 金	1,133,223	1,074,588	58,635	5.5
財 産 収 入	103,257	86,195	17,062	19.8
寄 附 金	200	200	0	0.0
繰 入 金	927,078	884,842	42,236	4.8
繰 越 金	150,000	150,000	0	0.0
諸 収 入	718,573	728,242	△9,669	△1.3
市 債	1,677,400	1,268,000	409,400	32.3
合 計	22,640,000	21,900,000	740,000	3.4

■一般会計(歳出)

単位=千円、%

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	伸 び 率
議 会 費	266,394	254,184	12,210	4.8
総 務 費	3,130,379	2,459,139	671,240	27.3
民 生 費	10,880,041	10,758,666	121,375	1.1
衛 生 費	1,980,323	1,917,954	62,369	3.3
労 働 費	38,788	37,224	1,564	4.2
農 林 水 産 業 費	8,173	6,102	2,071	33.9
商 工 費	248,503	249,071	△568	△0.2
土 木 費	2,163,936	2,181,744	△17,808	△0.8
消 防 費	784,043	761,116	22,927	3.0
教 育 費	1,996,012	1,954,936	41,076	2.1
公 債 費	1,072,430	1,238,371	△165,941	△13.4
諸 支 出 金	40,978	51,493	△10,515	△20.4
予 備 費	30,000	30,000	0	0.0
合 計	22,640,000	21,900,000	740,000	3.4

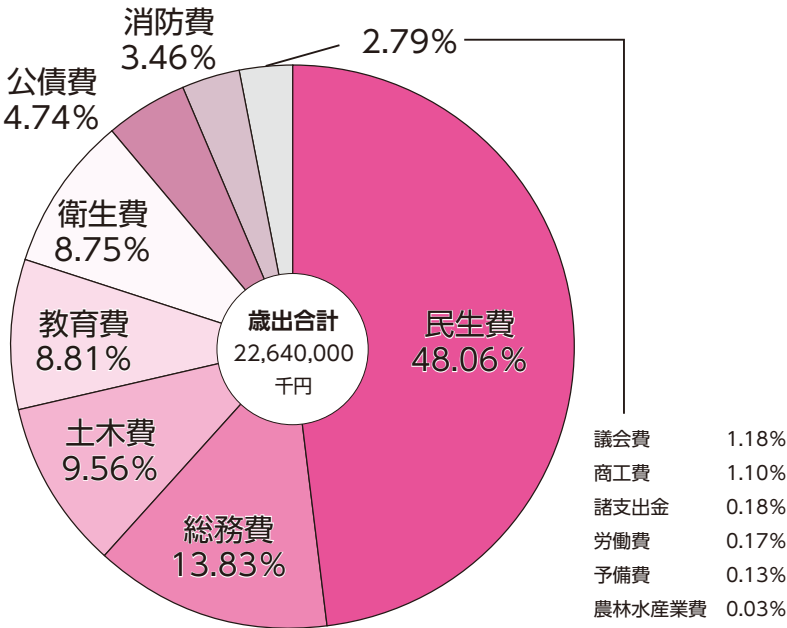
■総合計

単位=千円、%

会 計 名	本 年 度	前 年 度	伸 び 率
一 般 会 計	22,640,000	21,900,000	3.4
特 別 会 計	17,434,000	15,990,000	9.0
企 業 会 計	4,436,048	5,296,077	△16.2
合 計	44,510,048	43,186,077	3.1

一般会計予算

歳出の内訳



交付金は10億4900万円を計上し、税率引き上げ分相当額の4億3700万円を社会保障施策の財源に使います。一方、歳出は介護や福祉、子育て支援などに要する民生費が約48%、続いて総務費、土木費となっています。なお、市民1人当たりの市税と予算、その使いみちは図①(2ページ)のとおりです。

また、消費喚起や地方創生を支援する国の交付金を活用した26年度補正予算と合わせて、27年度はプレミアム付き商品券の発行や地方版総合戦略の策定などを進めます。

特別会計は6つの会計総額が174億3400万円、病院と水道の企業会計は総額4億3604万8000円となり、全会計を合わせた歳市全体の予算規模は、445億1004万8000円です。

■特別会計

単位=千円、%

会 計 名	本 年 度	前 年 度	伸 び 率
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	8,904,000	7,839,000	13.6
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	1,505,000	1,450,000	3.8
錦町土地区画整理事業特別会計	1,491,000	1,349,000	10.5
介 護 保 険 特 別 会 計	4,663,000	4,509,000	3.4
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	808,000	785,000	2.9
公共用地先行取得事業特別会計	63,000	58,000	8.6
合 計	17,434,000	15,990,000	9.0

■企業会計

単位=千円、%

会 計 名	予 算 科 目	本 年 度	前 年 度	伸 び 率
病 院 事 業 会 計	収益的支出	3,138,286	3,979,648	△21.1
水 道 事 業 会 計	収益的支出	1,297,762	1,316,429	△1.4
合 計		4,436,048	5,296,077	△16.2

蕨の更なる飛躍に向けて 3つの重点方向で予算編成



- 1 将来ビジョンの実現
- 2 持続可能な都市・蕨に向けた行財政改革の推進
- 3 協働のまちづくりの前進

ここ4^{よりたかひでお}では、**頼高英雄**蕨市長に新年度の市政運営や予算編成の考え方について、お聞きしました。



よりたか ひでお
頼高 英雄 蕨市長

市民の皆さんとの
協働で実現します
日本一住みやすい
コンパクトシティ蕨

——27年度の市政運営の基本的な考え方をお聞かせください。

市長 次の3つの重点方向に基づき、市政運営に当たります。

第1に、将来ビジョンの実現へ住みやすさの基本となる「安全安心」「まちの魅力や成長につながる」「にぎわい」、住みやすさそのものに直結する「みんなにわたったかいまち」、この3つをキーワードに事業を重点的に推進します。

第2に、蕨が将来的に推進し、持続可能な都市として発展するために、

行財政改革を推進します。27年度からスタートする将来ビジョン推進プランでは、土地開発公社の経営健全化や公共施設のファシリテイマネジメントなどを掲げ、厳しい財政状況でも市の借金を計画的に削減していくほか、公共施設の適切な維持管理に向け、その基礎資料となる白書を作成します。

第3に、市民の皆さんとの協働を更に推進するとともに、さまざまな分野で官民連携を図り、オール蕨によるまちづくりを進めます。

——重点方向の第1に当たる将来ビジョンの実現への取り組みについて、詳しくお聞かせください。

▼安全安心

市長 安全安心の分野では、防災対策として学校、保育園に続き、公民館や市民体育館などの耐震化を進めます。また、新たに家具転倒防止器具設置の補助や避難行動要支援者支援制度の計画に基づく自主防災会と連携した取り組み、テレビ埼玉と蕨ケーブルビジョンを活用した防災情報の発信を行います。交通安全対策では自転車用ヘルメットの購入補助を開始します。

▼にぎわい

市長 にぎわいの分野では、3月に国から認定を受けた中心市街地活性化基本計画を本格的に推進します。蕨駅西口再開発については市の負担を抑制しながら、魅力的な計画になるよう準備組合を支援

し、駅前を中心とするにぎわいの拠点づくりを進めます。また、双子^{ふたご}織やわらびりんごなどの地域資源を活かした蕨ブランドの育成を図り、更に活気あふれるまちへ成長できるよう取り組んでいきます。

▼みんなにわたったかいまち

市長 みんなにわたったかいまちでは、3つの民間認可保育園の開園や2つの留守家庭児童指導室の増設など子育て支援を充実させるほか、今月開設した特別養護老人ホーム内に地域包括支援センターを併設し、介護予防や相談体制の強化により、介護面でもきめ細やかな事業を展開します。更には歯科口腔の健康づくりの条例に基づき、新成人を対象に歯科検診事業を実施します。また、国保税の軽減や生活困窮者への支援を拡充します。

——最後に27年度の市政運営に
取り組む決意をお聞かせください。

市長 地方創生がうたわれている今こそ、歴史・文化、コミュニティの豊かさや利便性を併せ持つ蕨の強みが生きる時代です。日本一小さな市の蕨には、たくさんの魅力が詰まっていますが、市民の皆さんの市民力の高さこそが誇るべき点であり、市政発展の最大の原動力です。市長として今年も協働によるまちづくりを更に進め、「安心」に「にぎわい」みんなにわたったかい日本一のコンパクトシティ蕨の実現に向け、全力を尽くします。



3

みんなにあたたかく
健康に生活
できるまち



で対象を拡充します。新たな施設は東小と中央小の教室を利用し、夏休みに開設する予定です。

また、新たに、保育園在園児が1人であっても、第3子以降であれば保育料（3歳未満）を無償にする制度を今年度から開始します。

教 育の充実では、基礎学力の向上や学習習慣の定着を目指す

的に全7小学校で行っている、わ

住

住 み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていけるよう、市民・団体・事業者などと連携し、さまざまな施策を展開します。

市内3か所目となる特別養護老人ホーム（定員90床・ショートステイ10床・デイサービス30人）が南町2丁目に今月開設しました。同施設の土地を所有するOKIグループへ、引き続き奨励金を交付するほか、施設内に地域包括支援センターを併設し、認知症対策や介護予防をよりきめ細やかに推進し

ートステイも2室あります。
景気回復の実感が家庭まで
じゅうぶん行き渡っていない
なか、生活保護に至る前の支
援として、生活困窮者の自立

らび学校土曜塾を引き続き開催するほか、一人ひとりに行き届いた教育を目指し、市独自で進めている小学校全学年の35人程度学級も実施します。また、中央小のトイレや門扉改修に関する小学校校舎等改修事に1310万円、一中のトイレ改修に関する中学校校舎等改修事に990万円計上し、学校生活における環境を整備します。

新年度
期待の声



おおで まこと
大出 誠さん
南町2丁目・83歳

きめ細かな福祉施策を

南町に開設したばかりの
きれいな外観の特別養護老
人ホーム。市内2か所目の
地域包括支援センターも併
設され、福祉の充実が図ら
れていることを実感します。
今後も安心して住み続けら
れる、きめ細やかな取り組
みを進めてほしいですね。

健

健康づくりに関する相談のほか、家計相談や子どもへの学習支援を行います。

健 康づくりでは、がん検診の受診率向上に向けて、胃がん検診を集団検診から、医療機関で行う個別検診へ切り替えます。

これに伴うがん検診等委託料（胃がん・肺がん・子宮がん・乳がん・大腸がん）は前年度比約1600万円増の8032万8000円計上

[illegible]

まちぐるみで進める歯と口の健康づくり



しました。また、健康アップサポーターの養成などを引き続き進め、地域ぐるみで健康増進を図ります。

4 月から施行となった歯科口腔の健康づくり推進条例に基づく新たな施策として、20歳を対象に歯周疾患検診と歯のレントゲン撮影を実施します。予算は88

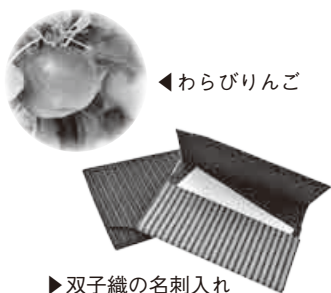
万9000円を計上。今後も各年代に合わせた歯と口の健康づくりをいっそう推進します。



障害者グループホーム「紙ふうせん」



ま ちの更なる活性化に向け、中心市街地活性化基本計画を本格的に推進します。同計画の周知に向けたパンフレット作成や中心市街地整備推進機構がタウンマネージャーを招へいするための費用補助などに379万5000円、東口コミュニティ・ショップING道路の設計委託料に733万8000円を計上。更には双子織やわらびりんごなどの地域資源を活かした蔵ブランドの育成を進めます。ブランドに関する制度設計を商工会議所との連携により行うほか、わらびりんごサイダーを製造し、機まつり



▶双子織の名刺入れ

新年度
期待の声

小学生の頃、機織りを体験したことがあるので、双子織の名刺入れが県の優良ブランド品に認定されたと聞き、うれしいです。それにわらびりんごサイダーの販売も今から楽しみ。こうした取り組みで藤の魅力を全国にPRしてほしいですね。



つばい あいり
坪井 愛里さん
中央6丁目・21歳

で販売する予定です。また、国の交付金を活用した26年度補正予算で、プレミアム付き商品券を発行するとともに、住宅リフォーム助成制度(14^次 参照)を2倍に拡充します。

音 楽によるまちづくりでは推進事業として211万6000円を計上。懇談会の提言を踏まえ、学校への音楽家派遣や新たな催しの開催、情報発信の強化により、芸術文化の振興を図ります。

[illegible]

環境にやさしいまち

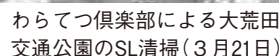
錦町4丁目の自転車歩行者道

備により、良好な状態で、災害に強いまちづくりが実現している。中央第一地区のまちづくりでは、道路の拡幅や広場の整備などに向けて、944万2000円、用地買収などのため、公共用地先行取得事業特別会計への繰出金を2806万5000円計上しました。錦町地区の区画整理事業では、特別会計への繰出金を8億9189万円計上し、国の交付金などと合わせて、家屋の移転や道路の整備を進めます。元蔵法ヶ田線の一部区間では、自転車歩行者道の整備を行うとともに、地域の宝・わらびりんごの植栽もしています。27年度も引き続き工事を実施し、安全で地域の皆さんに親しまれる

一人ひとりの心でつなぐ

笑顔あふれるまち

協 働のまちづくりの更なる推進に向け、8月を推進月間とし、市民活動ネットワークフォーラムを開催するほか、公募でキ



ヤッチフレーズやシンボルマークを制定します。協働事業提案制度では、子育て、鉄道をテーマにしたイベントや中学生が対象のデパートDV講演会、公園のSL整備など4つの事業を実施します。これに伴い、84万円を計上。また、クリーンわらび市民運動の参加者に「くらしの商品券」を配布するポイント事業を引き続き展開し、いっそう地域活動の促進を図ります。

おくだ まさかつ
奥田 政勝さん
錦町6丁目・75歳

地域住民の理解の下、行われている錦町地区の区画整理。錦町4丁目の道路では、自転車と歩行者を分離した歩道や、わらびりんごの植樹など、安全で良好な環境整備が進められています。これからも着実に計画を推進してほしいですね。

わかすぎ
若杉 しのぶさん
南町2丁目・39歳

わらでつ倶楽部が協働提案事業で行う、大荒田交通公園のＳＬ整備や催しに家族で参加しています。市民のさまざまな活動が地域の交流や活気を生み、よりよいまちづくりにつながっていくと思います。今後も楽しみながら続けたいですね。

この他、女性相談員を配置した配偶者暴力相談支援センターを設置し、被害者の支援を行います。

9 広報WARABI

特集

みんなで築く
災害に強いまち



熱心に訓練に取り組む皆さん(3月15日・北町二丁目町会自主防災会防災演習)

地域で進める 防災力アップ



いつ起こるか分からない大規模災害ー。
被害を最小限に抑えるには、
行政だけでなく、地域、市民一人ひとりの
日頃からの備えや連携が欠かせません。
そこで10、11では、自助や共助について
あらためて見つめ直していただくとともに、
その力をいっそう促進させる
新たな事業についてご紹介します。

安

全で安心なまちづくり
に向け、市では、学校

や保育園、公共施設の耐震化、
各種ハザードマップの作成、
他自治体との防災協定締結と
いった、さまざまな取り組み
を進めています。

こうした「公助」に加え、

重要性がいつそう高まっているのが、自分や家族の安全を
自ら守る「自助」、隣近所が
お互いに助け合って地域を守る
「共助」、そして、これらの
連携です。皆さんも、家庭に
おいては備蓄品の常備や避難
場所の確認、地域では自主防
災会の運営や防災演習の実施
などというように、それぞれ
が災害に向けた取り組みをして
いるのではないのでしょうか。

こうしたことを踏まえ、市
では、自助、共助への更なる
取り組みを後押ししようと、
「蕨市避難行動要支援者支援
制度」と「家具転倒防止器具
設置等補助制度」を創設しま
す。いずれも対象は、障害者
や要介護認定者などで、備え
によって災害の被害を最小限
に抑えようというものです。
続く11では、新たに創設
する2つの制度の概要につい
て、ご紹介します。

自助



災害に備えて、各家庭でできる準備を

共助



地域ぐるみで防災意識を高めましょう

公助



学校耐震化率は100%(写真は中央東小)

避難行動要支援者の 安全安心支える制度を整備

障 害者や要介護認定者など、災害時に、迅速かつ円滑に避難できる体制づくりが全国的な課題となっています。そこで市では、今年度、「蕨市避難行動要支援者支援制度」を開始します。

達、安否確認、避難支援などを実施することになります。対象となるのは、自ら避難することが困難で、家族などの支援を得られない在宅の人のうち、左囲み①～⑤のいずれかに該当する人です。支援を受けるには、避難支援等関係者に対する個人情報提供に同意の上、登録申請が必要です。なお、申請書は今月下旬以降に、①～④の人に順次送付されるほか、市ホームページでもダウンロードできるようにします。

この制度により、災害時の安否確認や避難のための手助けに向けたしくみづくりが進められます。しかし、必ずしも支援を受けられるとは限りません。一人ひとりが意識を高め、避難に必要な取り組みを行うことがたいせつです。

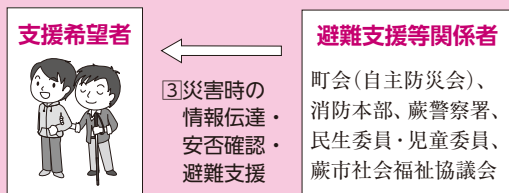


注意事項を確認の上で申請を

その概要は、各町会によって組織される自主防災会などが主体となり、対象者ごとに支援者や注意点を定める個別計画を策定するものです。それを基に、災害時の情報伝

送付されるほか、市ホームページでもダウンロードできるようにします。

支援のしくみ



蕨市	
対 象	申 請 先
①身体障害者手帳保持者のうち、視覚障害、聴覚・平衡機能障害、下肢・体幹・移動機能障害のある人	福祉総務課 ☎433・7754
②療養手帳(A・A)保持者	介護保険室 ☎433・7756
③要介護度3以上の人	保健センター ☎431・5590
④精神障害者保健福祉手帳1級保持者	安全安心推進課 ☎433・7755
⑤その他、上記の条件に準じる、特に登録が必要な人	

防災は助け合いの心で

災害弱者の皆さんへの支援については、私たちの自主防災会でも課題としてあがっています。いざというときに備え、地域ぐるみで助け合える体制や信頼関係を築いておくことがたいせつなのではないでしょうか。



こじま まさる
小島 守さん
北町2丁目・76歳

Voice

この制度により、災害時の安否確認や避難のための手助けに向けたしくみづくりが進められます。しかし、必ずしも支援を受けられるとは限りません。一人ひとりが意識を高め、避難に必要な取り組みを行うことがたいせつです。

家具転倒防止器具設置等補助制度

補助対象＝器具購入費、市内の登録業者に支払った取付費

対象＝①75歳以上の人のおのみの世帯
②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者のいる世帯
③要介護認定または要支援認定を受けている人のいる世帯

補助額＝1世帯当たり上限10,000円
※1世帯1回のみ

主な対象器具とその効果

小		器具の効果			大
ストッパー式	ポール式	L型金具(スライド式)	L型金具(上向き取付)	L型金具(下向き取付)	
マット式		ベルト式	プレート式		
		チェーン式			

※ポール式はストッパー式やマット式と組み合わせるとより効果が高まります

問い合わせ＝安全安心推進課(☎433・7755)

地

震による負傷の多くは家具類の転倒などによるものです。その防止策の一つである、各家庭での家具の固定にかかる費用を、市が補助します(上限1万円)。対象となるのは左囲みの該当者と器具です。申し込みなどの詳細は5月号でお伝えします。

なお、家具の固定が推奨されている箇所は、寝室、居間や台所、避難経路などです。状況に応じた対策で、自分や家族の安全を守りましょう。

家庭で進める安全対策

両親や兄と協力しながら祖母の介護をしています。特に震災以降、我が家でも家具の固定化を進めてきました。新しい制度を利用して、もっと安心できる住環境が整えられるように、家族で話し合おうと思います。



とちもち みき
榑本 実岐さん
南町4丁目・26歳

万一に備え事前対策を 家具転倒を防ぐ器具に補助

Voice



レポート そこが知りたい

<107>

「市長タウンミーティング」開催

市では、市民の皆さんと市長が直接意見交換する場の一つとして、例年、「市長タウンミーティング」を開催しています。今年は4月18日から25日まで、市内各地区で全5回実施します。この機会に皆さんの貴重なご意見をぜひお聴かせください。

を開催しています。今年も、今月18日に西公民館と東公民館、19日に北町公民館と南公民館、25日には中央公民館と、市内各地区で計5回実施します（左下囲み参照）。

市政への関心を深め 意見を直接伝える場

今年も市内5会場 市長と語る会を開催

誰もが住み続けたいと思えるまちづくりには、市民の皆さんの声を聴き、市政に生かしていくことが欠かせません。

そこで市では、平成20年度から、市長が直接各地域に伺い、市民の皆さんとひざを交えながら、蔵について語り合う「市長タウンミーティング」

タウンミーティングでは、市政についてご理解いただくため、はじめに、「平成27年度の施策・予算について」をテーマに、市長より蔵市の取り組みについて説明します。後半には質疑応答の時間を設けています。例年、市の財政や税金に関する質問から、子育てや公共施設、道路、公園などについての要望まで、さまざまな声をいただいています。ぜひ貴重なご意見をお聴かせください。

皆さんの声生かして より愛されるまちに

実際に市民の皆さんからお寄せいただいた声が改善につながった事例をいくつか紹介します。

- ① 自転車に関するマナー違反や交通事故が全国的な課題とされるなか、昨年12月から「蔵市自転車安全利用条例」を施行。同条例は行政や市民、自

転車利用者などの責務を定め、地域ぐるみで安全対策に取り組むものです。

② 高齢者への見守りについで、意見を受け、民生・児童委員などによる活動のほか、民間企業と協定を結ぶなど、安心して暮らせるまちづくりをより積極的に進めています。

③ 小学生の休みの日の過ごし方についての議論を受け、平成25年度から、

市長タウンミーティング



市長が市民の皆さんと一っしょに蔵のまちについて語り合うタウンミーティングを開催します。
平成27年度の蔵市の施策・予算をテーマに、市政のホットなニュースをお知らせします！
蔵のまちづくりへあなたのご意見をぜひお聞かせください。

開催日時・場所

4月18日(土)	午後2時～3時半	西公民館
4月18日(土)	午後7時～8時半	東公民館
4月19日(日)	午前10時半～正午	北町公民館
4月19日(日)	午後2時～3時半	南公民館
4月25日(土)	午後2時～3時半	中央公民館

託児・手話通訳あり（託児は政策企画室に要事前申し込み）

皆さんの声で子どもたちがより輝けるまちに



地域の皆さんのサポートを受けながら学習に取り組みます

子どもたちの学習環境は、例年、関心が集まる話題です。平成25年度に3つの小学校で始まったわらび学校土曜塾は、26年度からは全7校で開講。今年度は夏休みにも実施するなど、更なる充実を図ります。

学校施設を使用し、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図る「わらび学校土曜塾」を開講しました（右囲み参照）。

このように、皆さんの声がよりよいまちづくりにつながっているのです。ぜひ会場で、皆さんの生の声をお聴かせください。

なお、タウンミーティングで交わされた話し合いについては、市ホームページで順次公開します。

問い合わせ 政策企画室（☎433・7698）

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課（☎433・7703）へ。

（探しています）

セキセイインコ 体長約15センチ 青色 口癖は「新井サブくん」 〆新井・☎433・9560〆

（仲間にしませんか）

ねこのみみ（市民交流・談話） 月1回木曜日 正午 市内500円 〆北田・☎432・8501〆

〆蔵北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1500〆2000円（未就学児は年間1000円） 年中・小学生 〆小泉・☎090・4948・5936〆

〆蔵市南剣道クラブ 火・土曜日 午後7時 南小学校 5歳以上 〆沼野井・☎442・1787〆

〆南園基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 〆井上・☎442・0259〆

〆ABCキッズ（幼児英会話） 月3回水曜日 午前10時 中央公民館か旭町公民館 月2300円 未就園児 〆安部・☎080・3758・4017〆

〆北町アートアトリエ（造形） 幼児 〆月曜日 午前11時 市内1回800円 小学生 〆金曜日 午後4時半 北町公民館 月3800円 〆大矢・☎090・9952・7658〆

〆カラオケ愛好会 火曜日 午後4時 中央公民館 初心者 〆歓迎 〆菅谷・☎432・4966〆

スマホでも『広報蔵』が読めるようになりました



いつでも、どこでも
も広報紙を読むこ
とができるように

より多くの皆さんに広報紙に親しんでいただこうと、スマートフォンやタブレット端末向けのアプリ、「i 広報紙」による配信を今月から開始しました。同アプリを使用すると、『広報蔵』をいつでも気軽にスマホやタブレットでも閲覧できるほか、広報紙の発行をアプリがプッシュ通知で知らせてくれたり、気になる記事をSNSでシェアできたりと便利な機能がそろっていますので、ぜひご利用ください。



i 広報紙のご利用方法について

まずは、端末で下記のQRコードを読み取り、画面の案内に従ってアプリをダウンロードしてください。



←iOS端末のかた



Android端末のかた▶

※ i 広報紙の利用は無料ですが、情報の受信には通信料がかかります

ダウンロード後、アプリの設定画面で「お住まいの地域」などを登録すると利用できます。詳細は市ホームページでご確認ください。問い合わせ＝秘書広報課（☎433・7703）



こちらのQRコードを対応端末で読み込むことで、市ホームページを閲覧することができます

まちの話題

西小学校では、4年前に同校卒業生から寄贈されたビッグフラッグ（縦12・3メートル×横24メートル）への寄せ書きが6年生たちの恒例行事です。今年も3月5日に行われ、児童79人は感謝の言葉や将来の夢を記すとともに、学校生活の思い出を心にしっかりと刻みこみました。

卒業生79人が寄せ書き



昭和16年、日本初の営団住宅として建設された三和町（現在の南町2・3丁目的一部）。その歴史を伝えようと、三和町を語り継ぐ会により建立された記念碑の除幕式が、3月8日、三和公園で開かれ、61人が参加。同碑はまちを愛する心とともに、この場所に在り続けます。

三和町の歴史を後世に



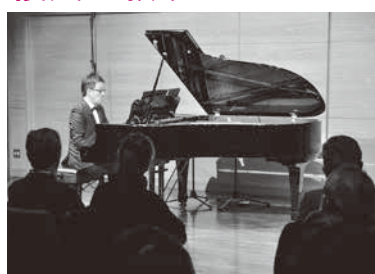
地域の宝・わらびんごをまちじゅうに広げようと、3月10日、西公民館で接ぎ木講習会が開かれました。わらびりんごの会の皆さんによる指導の下、台木への接ぎ木に取り組んだ参加者10人は、「たいせつに育てたい」と、口をそろえながら各家庭に苗木を持ち帰りました。

地域の宝を広める教室



3月11日、くるるで「311東日本大震災支援チャリティコンサート」が開催されました。5回目となる今回は、「左手のピアノリスト」で蔵市PR大使の智内威雄さんが出演。満員の会場では、観客が美しい旋律に耳を傾けながら、被災地の日も早い復興を願いました。

復興を願うコンサート



3月21日と22日、南公民館で、「桜のまち南町文化展」が開かれました。20回の節目とともに優良公民館表彰を記念する催しとなった同展は、蔵と縁のある芸術家や地域の人の作品展、ライブなどが行われ、520人が来場。文化や芸術に親しみながら、交流を深めました。

節目となる文化展開催



- ▼ コロ・ダーマ（女声合唱）
水曜日 午前10時 中央公民館 月5000円／町田・☎441・0321
- ▼ 英会話ハッピークラブ 金曜日 午後1時半 中央公民館 月6000円／野崎・☎442・5947
- ▼ 福寿会（民謡） 月3回火曜日 午後1時半 旭町公民館 月1500円 男性歓迎／坂・☎431・2866
- （参加しませんか）
▼ 健康講演会とオカリナ演奏会 19日 午後2時 市民会館／平田・☎090・31・9399
- ▼ 日帰り倶楽部 お江戸日本橋巡り 15日 1500円（別途船代あり）／岩本・☎090・3431・4295
- ▼ 江戸あるき 甲州街道・府中宿と大國魂神社 4日・9日・11日から選択 午前9時 蔵駅改札口集合 700円／富山・☎090・2764・1342
- ▼ ダンスパーティー 15日・18日・24日 午後1時 文化ホールくるる 499円／犬塚・☎441・7373
- ▼ セピアのダンスパーティー 6日 午前9時半 文化ホールくるる 499円／菊池・☎080・8896・2975
- （ご相談ください）
▼ 蔵断酒会（酒害相談） 7日 中央公民館 10日 南公民館 16日 旭町公民館 午後7時 語り合いの場／八津・☎090・2522・8688

今年度に限り2倍 ご利用ください 住宅改修資金特別助成金

自宅の改修を市内の施工業者に依頼すると、工事費の一部助成が受けられる住宅リフォーム助成制度。今年度は国からの交付金を活用し、助成を工事費の10%（上限20万円）に拡充します。リフォームを検討中のかたは商工生活室までご相談ください。



制度の活用でまちの景気を後押し

親と子の ニュースの 小窓

市内業者に発注で快適な住まいづくり

お母さん 最近、お風呂の調子が悪くって。

お父さん そうだな。それにタイルの傷みも目立つし、思い切ってリフォームを検討してみるか。

お母さん やった。以前、ワラビの子ども部屋を造ったときに、市の住宅リフォーム助成制度を活用したわね。

お父さん 市内の施工

者に10万円以上の工事を発注すると、費用の一部助成が受けられる制度だ。お母さん 家計に優しいだけでなく、まちの活性化にもつながるのよね。お父さん でも、制度の利用は一つの建物につき1回限りじゃなかったか。お母さん あら、なにかよい方法はないかしら。ワラビ じゃあ、市役所に聞きに行ってみようよ。

地域経済の活性化に向けて助成を拡充

ワラビ お風呂をリフォームしたいんですけど。

職員 それでしたら、住宅改修資金特別助成金をご利用ください。今年度は、地域経済の活性化を目的とした国の交付金を活用して、助成割合と限度額を従来の2倍、工事費の10%（上限20万円）に拡充しているんですよ。

お母さん それは朗報ね。でも、うちは昔、従来の制度を利用したのよね。

職員 その場合も今年度に限り対象に含まれます。

ワラビ よかった。

職員 ただし、市が行うほかの助成制度や、国の「省エネ住宅ポイント」などとの併用はできません。

お母さん 分かりました。では、申請方法について教えていただけますか。

職員 工事着工の2週間前までに、必ず必要書類を商工生活室へご提出ください（下囲み）。なお、申請は予算がなくなりしだい終了となりますので、お早めにお願います。

ワラビ はい！

【対象者】（次の要件を全て満たす人）

- ① 蕨市に住民登録がある人
- ② 補助の対象となる個人住宅の所有者であり、その住宅に居住している人
- ③ 市税及び国民健康保険税の滞納がない人
- ④ 対象工事において、他の補助金を受けていない人

【対象住宅】

- ① 自己居住用の個人住宅。マンション等の集合住宅の場合は専有部分
- ② 併用住宅については、住居部分のみ

【対象改修工事】

- ① 市内に事業所を有する施工業者で行う、工事費10万円以上（消費税抜き）の工事であること
- ② 助成金の交付決定後に着工すること
- ③ 平成28年2月末日までに工事を完了し、完了報告書を市へ提出できること

【助成額】（千円未満は切り捨て）

対象工事費（消費税抜き）の10%で最高限度額20万円
※従来の制度利用者も27年度に限り申請可

【受付期間】（予算額に達しだい終了）

4月1日から受付開始。下記の必要書類を市役所2階・商工生活室へ持参（郵送不可）
※申請は工事着工の2週間前までをお願いします

【必要書類】

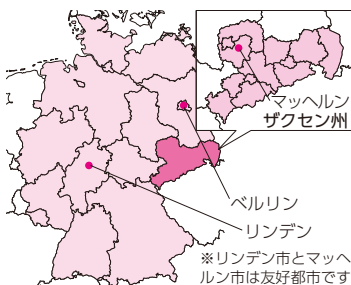
- ・申請書（同室または市ホームページで入手可）
- ・当該住宅に係る固定資産税の評価証明書またはこれに準ずる書類
- ・改修工事見積書の写し
- ・登記簿謄本またはこれに準ずる書類（併用住宅の場合のみ）
- ・施工前の現場写真
- ・改修工事予定箇所の図面
- ・その他市長が必要と認める書類



問い合わせ＝商工生活室（☎433・7750）

マッヘルンってどんなまち？

ドイツ東部・ザクセン州マッヘルン市（人口約7,000人、面積38.37平方キロメートル）。約1,000年の歴史を持つこのまちは、古城や教会などが散見され、年間約6万人が足を運ぶ観光地です。炭市の友好都市であるリンデン市とも交流があり、昨年炭市で開催されたキャンプにはマッヘルン市の青少年たちも参加し、友情を育みました。



国際青少年キャンプ



inマッヘルン参加者募集

派遣期間＝7月24日～8月4日



ドイツ・マッヘルン市で開催される国際青少年キャンプへの参加者を募集します。対象はおおむね14～17歳の市内在住者で、事前研修（4回程度）や報告会、市の国際交流事業に参加・協力できる人 ※これまでに市主催の同キャンプ（海外派遣）に参加したことがある人は申込不可。費用は10万円。選考は書類・面接申し込み（22日までに所定の申込書を秘書広報課へ持参（申込時に面接日を設定）。※申請書は中学校・公民館・同課または市ホームページで入手可。

●国際交流事業実行委員会委員の募集／市の国際交流事業に興味のあるかた、いっしょに活動しませんか。詳細は秘書広報課（☎433・7702）



子どもクラブ

旭町公民館

3月15日、舞台は旭町公民館。「この中に泥棒がいる」。そんなせりふで始まったのは、演劇や実験を通じて身近な科学の不思議について学ぶ「めざせ！科学捜査官」です。全国で科学の魅力を伝えている「チームわだ重」の皆さんのご協力の下、ちびっこ科学捜査官にふんした31人の小学生が繊維鑑定や指紋鑑定などに挑戦しました。「糸が黄色くなったからポリエステルかな」「みんな指紋の模様が違うんだね」と、目を輝かせる子どもたち。最後は犯人とともに、科学のおもしろさも捜し出しました。

わが家のアイドル



まさと 将人ちゃん
(1歳9か月)

ますだ 豪さん
増田 桃子さんの
長男
塚越4丁目

—516—

「1歳半を過ぎた頃からできることが増えて、徐々に言葉も覚え始めた将人。年末には、ミャンマーで暮らす祖母に初めて会いしました。現地ですしよに名物の大仏を見に行ったり、遊んでもらったりとすぐに打ち解け、すっかりおばあちゃん子に。ミャンマー語でおばあちゃんを指す、『ふわー』と声をかけながら、隣にべったりでした。そんな将人には、このまま家族のつながりを大事にする子に育ってほしいです」と、母親の桃子さん。

野菜の栄養価

春を迎え、彩り豊かな野菜が店頭に並び、毎日の食卓も春らしくなりました。野菜にはビタミン・ミネラル・食物繊維・フ

かるた DE ヘルスケア



炭市立病院
柴田 優子 医師

イトケミカルなど体によい成分がたくさん含まれています。今では多くの野菜が季節を問わず年中店頭になびようになりましたが、実は野菜の栄養価は50年前と比較して50分の1にも減少しているのだそうです。それでも旬を迎えた野菜には、いっしょに増して数倍もこれらの成分が多く含まれています。旬野菜を楽しみ、食で春と健康を感じてみませんか。

柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



華麗なジャンプを見せる松本さん

輝いています

全日本BMX選手権大会 優勝

ひと

まつもと れい や
松本 零也 さん

世界を駆ける日 目指して

連

続した起伏やジャンプ台、角度の付いたコーナーなどで構成された、約400メートルのダートコースで順位を競うBMX。7年前からはオリンピック正式種目にも採用されているスポーツです。昨年7月、国内の同競技の最高峰、全日本BMX選手権大会（9歳・10歳のクラス）で全国優勝に輝いたのは、南小学校の6年生・松本零也さん（11歳・南町3丁目）です。松本さんがBMXと出会ったのは4年前のことでした。先にこの競技に親しんでいた兄に付き添い、見学すると、「思い切りジャンプする姿がかっこいい」と興味を抱き、練習に参加。最初は立ってこ

うだけでも怖かったけど、上手に乗りこなせると爽快」と、そのとりこに。時間を見つけては練習に取り組み、めきめきと成長していきました。半年後、初めての大会で3位に入賞すると、その後も次々と好成績を収めていきました。昨年からは、「もっと高いレベルへ」と、全日本チームの指導経験がある監督の率いるチームに参加。それまでの練習に加え、バランス感覚を養う体幹トレーニングを取り入れたほか、前輪を浮き上げたままコース上のコブを走り抜ける得意技、ロールと呼ばれる技術を高めるなど、いっそう実力を磨きました。そうして臨んだ昨年の全国大会では、並みいる強豪選手を抑えて表彰台の頂に立ったのです。また、全国を転戦するシリーズ戦でも、同年代の年間チャンピオンの座を獲得しました。「今の課題は、体重が軽くてスタート時の加速力が足りないこと。ご飯をたくさん食べなきゃ」と、笑顔で話す松本さん。将来は本場アメリカや世界の舞台を駆け抜け、活躍したい」と目を輝かせます。夢への道は平たんではありませんが、これからも力強くペダルを踏み込み続けていきます。

紹介します！ 皆さんの市民活動

メッセージ



たから ひで こ
宝田 秀子 会長

研鑽重ねて磨く心技体
弓道がつなぐ交流の輪

キラリ!!
みんなの力

～蔵市弓道連盟～

私たち「蔵市弓道連盟」は、地域の団体（浩笛会）と民間企業、行政機関の弓道愛好家のサークルが一つになって、昭和56年に立ち上げられた団体です。現在、会員は51人で、月6回（第1・3土曜日＝午後1時～5時、第2・4火曜日＝1時～3時、第2・4木曜日＝7時～9時）、市民体育館弓道場で、お互いに教え合いながら活動しています。最初は、歩き方や座り方、作法

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎45・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。

といった基本から学び、一人で矢を射ることができるようになった会員は、活動以外の時間にも各自で練習に励んでいます。また、発足当時から恒例行事として、8月に「機まつり弓道大会」を開催しています。大会後には親睦会も行うなど、仲よく楽しみながら腕を磨けることも弓道連盟の特徴の一つです。なお、毎年5月と11月に開かれていて、市民体育館主催の「初心者弓道教室」（5月の教室の詳細はお知らせ版9ページ参照）では、私たちが講師を務めています。弓を引き、矢を放つ、一連の所作を通じて、心も体も鍛錬してみませんか。ぜひご参加ください。



「弓道が元気や健康の源です」と、皆さん